

第3学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日時 平成16年6月29日（火）5校時

学級 3年C組 男子17名女子19名 計36名

指導者 教諭 菊池 美代

1 主題名 進路の選択に備えて ～学習生活のポイント～

2 主題について

（1）教材観

これまでの学習の中で、生徒は進路選択の第一歩として職業観を中心に学習してきた。生徒たちは今までに職場体験学習を一年時に一回、二年時に一回の計二回経験している。さらに三年生では、五月の修学旅行で農業体験と牧場体験をし、生徒は大なり小なり働くことや職業に対する価値を見いだしている。そして、自分の将来に向けて、勉強しなければならないという意識を持っている。

ここでは、進路選択に備えて、学習の効果をあげるために、学習方法の再検討とともに、やらなければならないことは分かっているが、なかなか実行に移せない弱い自分を認識させたい。そして、自分の生活について総合的に把握させ、合わせて進路計画を確かなものにして、それを実現させる基盤としたい。

（2）生徒観

明るく素直な生徒が多く、仲もよい。自分をさらけ出し、正直に振るまう生徒が多い。仲間同士認め合うことは出来るが、互いを厳しく高め合うまでには至っていない。他の人のことをよく分析し、よいところをたくさんみつけれられるが、自分のことはどちらかというと過小評価をする生徒が多い。

この単元では、自分の学習生活を見つめ直し、仲間同士の分析や言葉によって、今まで気がつかなかった自分の生活のよいところや課題を発見し、よりよい学習生活が出来るように支援していきたい。また、それを十分に活かし、これからの学校生活を個々にあった具体的な目標のもとに、計画的に過ごしていけるように、支援していきたい。

（3）指導観

一人一人の学習生活の素晴らしい部分とさらに改善・工夫できる部分を認識させ、個々にとってよりよい生活になるように、具体的に支援していきたい。

3 主題の目標【学級活動(3)「学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること」】

【関心・意欲・態度】

よりよい学習生活を目指し、自分のつまずきの改善方法を真剣に考え、意欲的に活動しようとする。

【思考・判断】

自分の学習生活の分析から、自分の課題を的確にとらえることが出来る。

【技能・表現】

自分の学習生活の分析から分かったことや改善方法をふまえ、計画を具体的につくることが出来る。

【知識・理解】

自分のつまずきの改善方法を見つけ出すために、必要な資料や情報の整理の仕方が分かる。

3 指導計画と評価規準

2 時間計画

これまでの学習生活の見直しをしよう。

効果的な学習をするため生活を考えよう。(本時)

	学習内容	指導目標	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	これまでの学習生活の見直し	今までの学習方法を振り返り、つまずいている点に気づき、それをどのように改善したらよいか、具体的な方法を考える。	自分のつまずきの改善方法を真剣に考え、意欲的に活動しようとする。	自分の学習生活の分析から、つまずいている点を的確にとらえることが出来る。	自分の学習生活の分析から分かったことや改善方法を、具体的に言葉で表現することが出来る。	自分のつまずきの改善方法を見つけ出すために、必要な資料や情報の整理の仕方が分かる。
1 本時	効果的な学習に向けての計画作り	効果的な学習をするために、一日の生活の具体的な計画を作り、実行しようとする意欲を育む。	よりよい学習生活を目指し、前向きに一日の生活を考えながら計画を作り、実行しようとする。		効果的な学習をするために、一日の生活の具体的な計画を作ることが出来る。	

4 本時の目標

(1) 目標

効果的な学習をするために、一日の生活の具体的な計画を作り、実行しようとする意欲を育てる。

(2) 本時の評価の観点と具体の評価規準

	A 充分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
関心・意欲・態度	多くの視点を持ちながら、自分の実態にあった計画を積極的に作ろうとする。	よりよい学習生活を目指し、前向きに一日の生活を考え、計画を作ろうとする。	学習の意義をもう一度考えさせ、意欲を喚起させる。
技能・表現	外の生徒の取り組みを取り入れながら、自分の実態にあった計画を具体的に表現することが出来る。	効果的な学習をするために、一日の生活の具体的な計画を作ることが出来る。	教具を活用し、助言をしながら計画を作成させる。

(3) 本時の展開

個に応じた指導

評価

段階	学習活動及び内容、予想される生徒の反応	支援・評価・留意事項・教具等
1 導	「学習生活の実態とそれに関するつまずきの改善方法」の振り返り	プリントに記入されているか確認 机間巡視 ・一週間前との比較をし、学習時間の変化に気づかせる。

入 7分	効果的な学習に向けての生活を考えよう	・自分の学習方法について再度考えさせ、課題を確認させる。
展 開	<p>2 自分にとっての効果的な学習について考える。</p> <p>(1) 時間の使い方(生活規律)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの時間を減らす。 ・朝に勉強する。 ・学習時間帯を決める。 ・早寝早起き ・気分転換を工夫する。 <p>(2) 自分にとってよりよい学習生活をするための計 り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠時間帯・学習時間帯・食事の時間帯を確保する。 ・その他の時間帯の使い方を考えていく。 <p>3 自分の学習生活について、組み立ててみた一日の生 活について確認する。</p>	<p>今の生活の実態から、学習のための時間の生み出し方や時間の使い方について、改善・工夫できる点を考えさせる。</p> <p>自分の課題を的確にとらえ、前向きに考えているか。 挙手・発表</p> <p>自分にとって必要な活動と時間を確認し、プリントに色画用紙を貼りながら、よりよい一日の過ごし方を組み立てていく。</p> <p>自分の課題を念頭に置いて考えさせる。ワークシートに記入・貼り付け活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を見つめながら考えて活動しているか。 <p>自分なりの解説を加えながら発表させる。</p> <p>自分の実態にあった計画かどうか。 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手教科の学習にどれくらいの時間をかけるのか。 ・テレビの時間と見る番組は適当か。 ・起床時刻、就寝時刻は適当か。 ・怠け心に打ち勝つための工夫や今の決意 ・前向きな発想か <p>前に出て黒板を使って発表させる。</p>
終 末 3分	4 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを整えることが、時間を有効に活用することになるのだと伝える。 ・今この時から実行しようとする強い意志が大切だということを伝える。 ・何かに立ち向かうときは励まし合う仲間 の存在も大切なのだということも伝える。